

平成 25 年度 経営協議会（学外委員）からの意見への対応
（法人運営改善への活用）状況

	経営協議会（学外委員）からの意見	対応（法人運営改善への活用）状況
1	<p>第 5 回（平成 26 年 1 月 30 日） 議題【国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）等の就職状況について】 （学部卒業者の教員就職率が全国第 1 位であった報告を受けて）学校現場で力を発揮する教員の育成に力を入れるべきである。</p>	<p>本学の教員就職率第 1 位という成果は、就職指導に係る一連の取組はもとより、学校現場で必要とされる実践的指導力の向上を目指して、従前から取り入れている「教員養成コア・カリキュラム」にあると考えている。現在も、教育に関する理論と実践の統合を図った教育実践学を核とする「教員養成コア・カリキュラム」の検証を進めており、これをさらに充実させるとともに、附属学校や公立の連携協力校等を一層活用するなどして、教科及び教職に関する各授業科目を有機的に結びつけた体系的な教育課程の編成によって、実践的指導力を備えた質の高い学校教員養成を目指す。</p> <p>また、学校現場の意見を取り入れるために、地域教育委員会関係者、大学等機関の専門家等から構成される「教育・研究評価部会」を開催し、本学の教育研究活動及び学生による授業評価や FD の在り方について忌憚のない意見・提言を収集しているところであるが、これをさらに効果的に行えるよう、教育委員会との連携による会議の設置について、大学改革構想検討委員会において検討することとした。</p>
2	<p>第 5 回（平成 26 年 1 月 30 日） 議題【公立学校等教員採用試験合格状況について】 （面接対策として人間力を身につけるボランティア等が提案されたが）4 年間で人間力を身につけるのは難しいのではないか。優れた実践力を有する者を採用するため臨時経験者が合格する傾向にあること、学校運営に関する対応力も必要である。</p>	<p>学生の教職キャリア形成のための「教員養成コア・カリキュラム」などのほか、優れた実践力を身に付けさせるために、正課外の実践にも注力する必要がある。</p> <p>就職支援室の拡充のため、就職支援アドバイザーを増員して個人指導を充実させ、きめ細かな相談・論作指導ができるようにする。また、総合学生支援棟の新営に伴い、「就職支援セミナー室」を整備してよりよい環境で個人面接・模擬授業・場面指導・集団面接・集団討論を実施する。</p> <p>なお、専門職学位課程（教職大学院）教員養成特別コースにおいては、学校運営に関する実践的対応力を重視してインターンシップ（実習）中心のカリキュラムとし、現職教員の院生からアドバイスをもらいながら身に付けていく体制を構築している。</p>